

《履修証明プログラム 開講時間割表（2025年度前期4月～8月）》※時間割は予定のため変更となる場合があります。

■ = 実習の各コース共通科目 ■ = 講義の各コース共通科目 ■ = 陶芸 ■ = ガラス

曜日	分野別 コース別	9:00	10:30	10:40	12:10		13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50	
		1	2	昼休み	3	4	5						
月	ガラス												
	陶芸												
火	ガラス												
	陶芸												
	講義	①生産・工芸デザイン概論 (アート・クラフト概論) (初級者) [22.5時間]<1225>					②素材・材料論(工芸史) (初級者) [22.5時間]<1225>						
水	ガラス	③クラフト実習Ⅰ(クラフト実習B) (初級者～中級者) [67.5時間]<9601>											
	陶芸												
木	ガラス	④クラフト特別演習 (上級者) [45時間]<9601>					⑤ガラス・陶磁器演習B (中級者～上級者) [67.5時間]<9601>						
	陶芸												
金	ガラス												
	陶芸												

※〔 〕内の時間は、15週の総時間数です。

【開講科目】

①生産・工芸デザイン概論 (アート・クラフト概論)	※詳しい授業内容については、 本学ポータル(https://portal.kobe-du.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp) から、ゲストユーザーとして「シラバス」をご参照ください。
②素材・材料論 (工芸史)	
③クラフト実習Ⅰ (クラフト実習B)	
④クラフト特別演習	
⑤ガラス・陶磁器演習B	

※科目名の()内は旧カリキュラム名称です。

【履修コース組み立てに当たっての注意点】

- 1プログラム、120時間以上になるように授業を選択してください。授業は毎週行われ、半期期間中、15回行われます。
- 受講者は個人のレベルを、おおむね3段階《初級者》《中級者》《上級者》を目安に組み立ててください。
- 1プログラムが完了した後、続けて次のプログラムに出願することが出来ます。
- クラフトの実習は、個人単位の作業です。どの時間の実習授業を選択しても担当教員は、個人のレベルに合わせた指導を行います。

【履修モデル（参考）】

《初級者の方…経験年数が少ない方》

- ◎講義から「生産・工芸デザイン概論(アート・クラフト概論)」「素材・材料論(工芸史)」の2講座
- ◎実習から「クラフト実習Ⅰ(クラフト実習B)」「生産・工芸デザイン基礎実習A(クラフト基礎実習)」の2講座

《中級者…工芸系専門の高等学校または、カルチャーセンター等で実技を経験した方》

- ◎講義から「生産・工芸デザイン概論(アート・クラフト概論)」「素材・材料論(工芸史)」の2講座
- ◎実習から「クラフト実習Ⅰ(クラフト実習B)」「ガラス・陶磁器演習B」の2講座

《上級者…4年制の専門大学または専門学校等で実技習得した方》

- ◎講義から「生産・工芸デザイン概論(アート・クラフト概論)」「素材・材料論(工芸史)」の2講座
 - ◎実習から「クラフト実習Ⅰ(クラフト実習B)」「クラフト特別演習」「ガラス・陶磁器演習B」の3講座
-